

# としょかん つうしん

## 8月号



今月のテーマは「いのち」「おもいやり」です。読んでみるとやさしい気持ちになれる絵本を紹介します。

赤ちゃんから

あなたがだいすき



### 『あなたがだいすき』

鈴木まもる 作 ポプラ社

「あなたがいるだけで とっても とっても とっても うれしい」  
どんなときでも自分の存在を肯定してくれる、魔法の呪文のようです。誰かに言ってもらえたら、とても嬉しくて元気になれる。この絵本には、そんな言葉がいっぱいつまっています。

年少くらいから

どうぞのいす



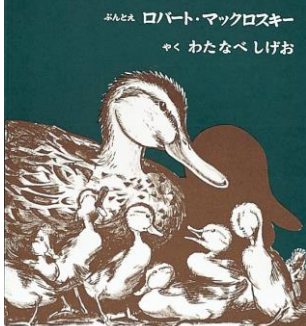
### 『どうぞのいす』

香山美子 作 柿本幸造 絵 ひさかたチャイルド

うさぎさんが作った小さないす。「どうぞのいす」と立て札をつけて木の下に置くと、やがてどんぐりを背負ったろばさんが来て…。「どうぞ ならば えんりょなく」とくりかえされるお話が楽しく、思わず微笑んでしまう結末です。  
思いやりが心に温かい絵本。

年長くらいから

かもさんおとおり



### 『かもさんおとおり』

ロバート・マックロスキー ぶんとえ わたなべしげお やく 福音館書店

ボストンの街中にやっと住む場所を見つけたカモの夫婦。今日は小さな子ガモたちを連れて、公園の池までお引越しです。さあ、カモたちが一列になって町の中を歩き出しました。あらあら、たいへん！おまわりさんは自動車をとめて急きょ交通整理に。都会でしっかりと生きるカモの生命力、見守る人間たちの思いやりを感じます。1941年からずっと愛され続けている絵本です。

※対象は目安です。対象以外のお子さまでも楽しめます。

同様のもの、過去のものを取手市立図書館のホームページ上でも公開しています。

[おすすめえほん](#) [取手市立図書館](#)で検索